

「音楽科」学習指導案

1. 日時 平成27年6月
2. 場所 視聴覚教室
3. 学部・学年 高等部 第1学年
4. 単元名 「音の重なりを感じよう」

5. 単元目標

- ・音楽活動を通じて豊かな心と感性を育てる。
- ・音楽活動を通して、感情や意思を自分の力に応じた方法で表出する。
- ・合唱や合奏を通して音の広がりを味わいながら、友だちと協調する力を養う。

6. 児童生徒観 略

7. 指導観

高等部では、発達の段階に応じての個人の課題や小グループ別での学習活動が多い。『音楽』の授業は、学年全員で行う貴重な時間であり、発達の段階や障がいの違う生徒たちがお互いを意識し合い、集団の中で協力・協調する力を養うことを重視して取り組む大切な時間だと考えている。

本授業では、生徒が指導者の支援を介して自分の力を発揮しながら協力して一つの音楽を作り上げること（合唱・合奏）で、自分自身や他者を認め合う活動につなげたい。また、人数の多い集団の強みを活かし、独奏（個人課題）とは違った合唱・合奏の幅広い音の重なりや音楽の深みを味わうことで、個々の感性を刺激し、より幅広い表現活動と表現能力の向上につなげていきたい。

8. 教材観

旋律が複数ある合唱、多種類の楽器を使用し、パートによって難易度の調整ができる合奏は、発達の段階や障がいの多様な生徒一人ひとりに応じた課題を考えるにあたって最適な教材と考える。

本授業教材の『そこに風がある』は2部合唱の曲で男声パートにも主旋律があり、ゆったりしたテンポの曲である。また歌詞が風景を描写しており、気持ちをこめて歌いやすい曲である。歌詞理解が簡単でテンポがゆっくりの曲を使用することで音の重なりを感じることに集中できると考える。

『ガボット』は同じパターンのリズムが繰り返される曲である。楽器を鳴らすタイミングがわかりやすいため生徒が自分で演奏する力を引き出しやすいと思われる。全員一緒のリズムで演奏し、お互いの気持ちを合わせることを意識させ、音の重なりを感じるができるように取り組みたい。

9. 単元の評価規準 *グループ (G1、G2、G3) ごと

	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意・工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
G1	・声や表情、身体の動きで表現しようとしている。 ・楽器を触ろうとまたは鳴らそうとしている。	・音楽演奏を聴いて、感じたことを声や表情、身体の動きで表出している。	・自分自身の能力に応じて音楽に合わせて何らかの動きや声で表出することができる。 ・自分自身の能力に応じて担当する楽器を鳴らすことができる。	・自分で楽器の音を鳴らしていることを理解している。 ・曲の始まりと終わりを理解している。
G2	・歌詞やメロディーを覚えて歌おうとしている。 ・楽器を積極的に演奏しようとしている。	・音楽演奏を聴いて、感じたことを表現することができる。	・歌詞・メロディを覚えて歌うことができる。 ・リズムに合わせて演奏することができる。	・二重唱であることを理解している。 ・楽器の音が良く響く演奏方法を理解している。
G3	・歌詞やメロディーを覚えて歌い、歌詞の内容を表現しようとしている。 ・正確に演奏しようとしている。 ・友だちに合わせて演奏しようとしている。	・歌詞の情景を思い浮かべ表現しようとしている。 ・音楽演奏を聴いて、自分の言葉で感じたことを表現することができる。	・他の人の声に合わせて、自分の歌い方を工夫して歌うことができる。 ・他の人に合わせて音量や音色を調整して演奏することができる。	・歌詞の意味を理解している。 ・独唱と二重唱の違いを理解している。 ・音楽記号や音階について覚えている。

10. 単元の指導と評価の計画 (全7時間)

次	時	学習内容	評価規準			
			音楽へ関心・意欲・態度	音楽表現の創意・工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
第一次	1	『そこに風がいる』 ・歌詞理解、共通メロディ練習 『ガボット』 ・担当楽器紹介・リズム練習①	○	○		
	2	『そこに風がいる』 ・パート別練習① 『ガボット』 ・リズム練習②		○		

	3 本 時	『そこに風がいる』 ・パート別練習② 『ガボット』 ・全体合奏①		○	○	
第 二 次	4	『そこに風がいる』 ・全体合唱① 『ガボット』 ・全体合奏②		○		
	5	『そこに風がいる』 ・全体合唱② 『ガボット』 ・全体合奏③		○		○
第 三 次	6	まとめ 音楽発表会での演奏発表 (授業日とは別日で開催)		○	○	○

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

①合唱『そこに風がいる』

- ・ G 1 : 周りの歌唱を聞いて、声や表情、身体の動きで感情を表現する。
- ・ G 2 ・ 3 : 各パートの歌詞・メロディを覚えて歌唱することができる。

②合奏『ガボット』

- ・ G 1 : 担当楽器を鳴らすことができる。
- ・ G 2 : リズムを覚えて演奏することができる。
- ・ G 3 : メロディを覚えて演奏することができる。

(2) 本時の評価規準

①合唱『そこに風がいる』

- ・ G 1 : 自分自身の能力に応じて音楽に合わせて何らかの動きや声で表出しようとしている。
- ・ G 2 ・ 3 : 自分のパートのメロディを覚えて歌っている。

②合奏『ガボット』

- ・ G 1 : 自分自身の能力に応じて担当する楽器を鳴らそうとしている。
- ・ G 2 : リズムに合わせて演奏しようとしている。
- ・ G 3 : メロディを覚えて正確に演奏しようとしている。

(3) 本時で扱う教材・教具

楽曲：『HAI!HAI!HAI!』 作詞：福尾野歩 作曲：才谷梅太郎

『発声のドリル1～3』 作詞・作曲：岩河三郎

『そこに風がいる』 作詞：岩沢 千早 作曲：黒沢吉徳

『雨にぬれても』 作詞 ハル・デヴィッド 作曲：バート・バカラック

『Rain』 ビートルズ

『ガボット』 作曲：ゴセック

『青空しんこきゅう』 作詞：山川啓介 作曲：服部隆之

使用楽器等

電子ピアノ、キーボード（２）、アンプ、シールド、和太鼓（２）、和太鼓用バチ（３）、レインスティック、オーシャンドラム、ボンゴ、たまごマラカス、タンバリン（６～７）、ウィンドチャイム、ジャンベ、コンガ、ＣＤコンポ、歌詞カード、ホワイトボード

（４） 児童生徒の実態と本時の目標 略

（５） 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び 支援のてだて等	評価規準
15分 導 入	・ はじまりのあいさつ 生徒２名で号令 ・ 本時の学習内容を知る ・ 歌唱『発声のドリル』 ・ 『HAI!HAI!HAI!』 歌に合わせて一人ひとり呼名し、返事する。	生徒同士が意識し合えるように声をかける。 ・ 表情、身体が緩むような支援をする。 ・ 腹部を意識できるよう伝える。 ・ 表情の変化、声を大きさ等生徒の様子を観察し、言葉にして返す。 ・ 一人ひとりに合わせて伴奏のテンポを調整し、返事をしやすい雰囲気を作る。 ・ 呼ばれたことを意識できるよう支援する。	
30分 展 開	・ 合唱『そこに風がいる』 パート練習 ～休憩(水分補給)～ 鑑賞：雨に関係する曲	・ 男声パートと女声パートを順に練習する。 ・ 歌唱が可能な生徒は、メロディを理解できているか丁寧に確認する。 ・ 歌唱が難しい生徒には、表情を見ながら ST が近くで歌い表情や動き等を観察し、一人ひとりに応じた支援をする。 - 曲を聴きながら、必要な生徒は水分補給を行う。	・ 歌唱の際に、発声や表情の変化がある。 ・ メロディーを覚え、歌おうとしている。 ・ 伴奏や周りの声に合わせて歌っている。

